



[第 02 号議案①]

令和 04 年(2022 年)度 事業計画

＜ 本 部 (P02～07)＞

＜柏さかさい保育園(P08～10)＞

＜柏中央保育園(P11～13)＞

＜牛久みらい保育園(P14～16)＞

＜柏しんとみ保育園(P17～19)＞

＜柏 ECEC 保育園(P20～22)＞



令和04年度 社会福祉法人 童心会 事業計画

1. 事業運営

令和04年4月1日のスタートも、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)収束の見込みが立たない中での事業計画は引き続き何らかの影響が考えられる。しかし、当法人が経営する5園のうち3園がクラスターとなり、保育事業の開閉時間の変更や保育活動の範囲など、何よりも園児及び保護者、職員たちが感染し、この経験を活かしながらWITHコロナの運営状況を再構築する。よって、本事業計画については通常の運営が遂行できることを前提に推進する。

引き続き、法人の保育理念である「やさしい保育」の理念意識を低下させないため、継続的に保育所からはじめる地域コミュニティとしての地域活性化を図り、保育の質を向上させ、新たな中長期計画を策定し童心会ブランドを高め、令和04年度も飛躍できる法人へ邁進する。

(1) 中長期計画の策定

新たに、5年間の中長期計画を策定する

計画を遂行するため、下記のように本部運営を強化しなければならない

- 本部運営: 役員管理、情報管理、契約管理
 - 本部経理: 会計管理、補助金&運営費管理
 - 本部人事: 採用、規則管理見直し、園幹部職員管理
 - 本部企画: 中長期の計画策定・実施は本部と数名の専門リーダー
- ① 人材育成とメンタル・ケア
 - ・ 新たな研修とメンタル・ケアに特化した未来幹部職員育成を策定
 - ・ 理事長研修を基盤にした内外研修との融合化
 - ・ 採用年別による育成と組織内専門育成者の育成
 - ② 組織変革
 - ・ 持続可能な事業の策定
 - ・ 部会の存在価値の再認識
 - ・ 内部 Check 機能の強化(自園自立と法人連絡体制の再構築)
 - ③ 事業活動
 - ・ 持続可能なブランディング活動と保育のあり方の策定と計画
 - ・ 法人特化されたわくわく(音楽リズム含む)活動の重点強化
 - ・ 他法人との連携や業務提携によるブランディング活動推進
 - ・ 行政からの社会福祉法人や子育て関連等の情報収集とその情報活用からの特殊事業(気になる子への新事業)や環境事業(ブランド設置)の推進と未来の児童事業の新展開等を検討



(2) 法人マニュアル具現化

継続的に法人マニュアルを補完し研修を通じた共通理解を強化推進する

(3) その他

- ① 外部環境の活用
- ② ICT 強化(保育業務の改善と一元化したシステムの開発推進)

2. 事業体制

(1) 保育園事業

柏市	： 柏さかさい保育園	120 名	定員(144 名 弾力運営あり)
柏市	： 柏中央保育園	90 名	定員(106 名 弾力運営あり)
牛久市	： 牛久みらい保育園	90 名	定員(105 名 弾力運営あり)
柏市	： 柏しんとみ保育園	90 名	定員(108 名 弾力運営あり)
柏市	： 柏 ECEC 保育園	80 名	定員(96 名 弾力運営あり)
		合計:470 名(最大 559 名)	

(2) 職員体制(R04 年 4 月 1 日現在の構成となるが、継続的に人員確保)

理事長	： 1 名(スーパーバイザー兼務)
園 長	： 5 名(理事長と業務執行理事、園長兼務)
主任保育士	： 5 名
保育士	： 110 名(うち派遣保育士 9 名)
看護師	： 6 名
みなし保育士	： 10 名(柏市特別配置、障がい職員 2 名)
栄養士	： 5 名
調理員	： 18 名
事務員	： 3 名(事務専任)
アシスタント	： 6 名(うち障がい職員 1 名)
保育アドバイザー	： 2 名(うち H29 年度 定年退職職員 1 名)
合 計	： <u>171 名</u>

(3) 広報活動

「保護者、園児、地域」を中心に、当法人に対する理解及び保育の本質を伝えられるよう、オンラインサービス、SNS、ホームページを最大限に活用し情報を配信する。他、社会充実計画の一貫として地域の方々への行事招待及び毎年理事長自らの講演や外部研修会をコロナの感染状況を鑑み催す。

実習生を行政とともに受入、人材確保の目的とした活動も視野に入れる。



3. 付加価値事業の推進

各保育園との共有化及び法人としての付加価値を高める事業活動である。主に、『わくわくアート』『わくわくタイム』を全園と共有し、特化する指導者のもと全園の活動を一元化することで子どもたちの人間教育及び職員の育成に繋げるものである。

(1) わくわくアート活動(高間道子先生/元牛久みらい保育園園長)

■ 活動目標

保育園での最終学年となるさくらぐみの活動の中で、絵画やかきかたを通して、表現力・想像力・思考力を伸ばしていけるようにするとともに、就学に向けて知的好奇心を高め、学習の基礎づくりができるようにする。

○ 絵画 … 様々な用紙や画材を使用したり五感を使う活動を通して、表現の楽しさを経験し、新たな気づきや発想を広げていけるようにする。

○ かきかた… 鉛筆で書くことに慣れ文字を書くことへの意欲を高めるとともに、筆文字を書く楽しさを経験する。

【内容】

月2回、午睡をしなくなった午後の時間を活用して、1回1時間程度の活動(子ども達が行う片付けまでを含む)をする。

○ 絵画 … 観察画・想像画・デザイン画

○ かきかた…線の練習・ひらがなの練習・考える力を伸ばすプリント・点つなぎ・習字ほか

【活動計画】

	絵画	ポイント	かきかた
4月	おともだちの顔(コンテ画)	コンテ画 今までと違う描き順で発想を変える	名前、線の練習、迷路
5月	大根の観察画	五感を使って観察し、長い用紙に表現する	ひらがな①・○△の写し書き
6月	バブルアート(シャボン玉)	シャボン玉で絵を描くという意外性を楽しむ。今までにない方法で描くことで、表現の発想を広げる。	ひらがな②、グリッド点つなぎ
7月	パイナップルの観察画	五感を使って観察し、細かいところに目を向けられるようにする。	ひらがな③、数字点つなぎ
8月	海の中(透明シート使用)	紙だけでなく透明シートにも絵が描けることを楽しむ。	ひらがな④、まちがいがし
9月	砂絵	糊で描いた絵に色が付けられることを楽しみ、表現を豊かにする。	ひらがな⑤、数字点つなぎ
10月	マンダラぬり絵(色鉛筆)	細かい模様を、色のバランスを考えながら色塗りする。色鉛筆を上手に使うことで手の動きがスムーズになり、文字を書く力の向上が期待できる。 音楽を聴きながらリラックスした雰囲気でもり絵をすることを楽しむ	ひらがな⑥ グリッド点つなぎ



11 月	〇〇〇から描いてみよう	〇〇〇から発想を広げて想像しながら絵を描くことを楽しむ。ともだちの真似をしないで、自分で考えたものを自信をもって描けるようにしていく。	ひらがな⑦、 なくなったものさがし
12 月	物語の絵「かさじぞう」 (墨と筆)	素話を聴いてその情景を思い浮かべ、墨と筆を使って表現する。雪は白絵具で描き、白と黒で表現できる絵を経験する。	ひらがな⑧、 ひらがな点つなぎ
1 月			書き初め、 ひらがな⑨、しりとり迷路、 記号うつし書き
2 月	等身大の自分を描いてみよう スペシャルアート	大きな模造紙の上に寝て、友達に自分の体の形を写し描きしてもらい、絵の具で色を塗ってから切り取る。 担当の先生に考えていただいた活動をお願いします	
3 月	おともだちの顔(コンテ画) リクエストアート	4月におこなったコンテ画をもう一度行うことで、1年間の描く力の成長に気づく。 もう一度やってみたい活動をリクエストしてもらって行う。	

■その他

- ✧ 各回の**必要な準備物**についてはできるだけ高間が用意しますが、各園で準備をお願いしたいものについては月ごとにナレッジで連絡いたしますので、ご協力をお願いいたします。(画用紙、保護者への連絡等)
- ✧ **絵画の作品は、できるだけ掲示していただき子ども達が友達の作品を見られるようにお願いします。**そのあと家庭への返却は、各園での判断にお任せします。
- ✧ 絵画の活動では、最後に友達が描いた作品を見せ合う「**発表会**」をおこない、お互いの良いところに気づけるようにします。自分の意見を発表する機会をつくり、発表のしかたも後半には「わたしは〇〇が〇〇とおもいました」と言えるようにしていきたいと思います。就学に向けて**発表態度、聞く態度、物の扱い方等の声掛け**もしていきたいと思います。
- ✧ 書き方のプリントは、添削して**書く力の記録**を記録用紙にまとめたものと一緒にお渡しします。子ども一人一人の課題と成長を追ってみたいと思います。
- ✧ プリントは4～5枚を綴じて用意します。「続きを家でやりたい」という子が多いので、その都度添削したものを返却する方が意欲につながると思います。
- ✧ 文字の上達よりも、鉛筆(色鉛筆)で**書くことに慣れること**を目標にしています。慣れると指先のコントロールが上手くなり、字も上達します。自由時間にぬり絵や点つなぎなど、鉛筆(色鉛筆)を使う機会をつくっていただくと慣れるのも速く書く力が伸びていきます。
- ✧ **わくわくアート通信**を年3回程度発信して、活動の様子等を保護者に伝えていきたいと思います。
- ✧ 活動を通して気づいた「**子どもの気になる点**」については共有させていただき、より良い育ちにつなげていけたらと思います。情報の共有をよろしくお願いいたします。



■ 小学校への接続(スタートカリキュラム)を意識した活動

- ◇ 始まりと終わりに挨拶をする。
- ◇ きょうの活動内容を伝えて、見通しをもって進められるようにする。
- ◇ 終わりの時間を伝えて、時間を守れるようにする。
- ◇ 返事のしかた(ハイは、1回)
- ◇ 名前を呼ばれたら返事をして立つ。
- ◇ 手を挙げて発表できることを褒めて自信を持てるようにしていく。
- ◇ 隣の人にプリントを渡すとき、「はい、どうぞ」「ありがとう」といって順に送る。
- ◇ 活動の合間に「手あそび先生」をやってもらい、みんなの前に立つことの経験を増やしていく。

【後半になったら】

- ◇ 発表のしかた、「わたしは、〇〇だとおもいます。」「ぼくは、〇〇をかきました。」というような発表のしかたができるようにしていく。
- ◇ 相手にわかるようにはっきりと話すことができるようにしていく。
- ◇ 小学校のチャイム音を始まりと終わりに聞かせて学校の授業イメージを持たせ、より就学への期待が持てるようにしていく。

(2) わくわくタイム活動(中山力公先生)

■ 活動目的

- ・ 園バス(赤バス・虹バス)を利用して、徒歩では行くことができない大きな公園等の施設環境を利用して全身を使ってあそび、公共施設などでは社会性を身につけるための経験をする。
- ・ 外環境(ひと・もの・こと)を活用しながら、四季の自然環境を味わいながら慣れ親しむ。
- ・ 多忙な家族に代わって積極的に自然環境に関わる機会を持つ。

■ 活動留意点

- ・ 活動を安全に楽しむため、お話を聞くことができる姿勢を大切にしていく。
- ・ 広い公園での活動が多いため、園児全体の立ち位置を把握するようにする。
- ・ 周りに注意を払えるように声かけし、予測される衝突などの事故を未然に防ぐ。



- ・ 活動場所を利用して頂いたことに感謝し、ありがたいの心を忘れない。

■ 活動日程・時間について

月 2 回の曜日固定とし、行事と重複してしまった場合は行事を優先

園名	柏さかさい 保育園	柏中央保育園	牛久みらい保 育園	柏しんとみ保 育園	柏 ECEC 保 育園
曜 日	第 2 / 第 4 月曜日	第 1 / 第 3 月曜日	第 2 / 第 4 水曜日	第 2 / 第 4 金曜日	第 1 / 第 3 金曜日

■ 活動時間帯について

- ・ 13:30～15:00(おやつなし)
- ・ 13:30～15:30(おやつあり)

※ 新型コロナウイルス感染予防のため帰園してからおやつを頂く。
移動時間を除いた活動できる時間や園に戻ってからの活動、先生の予定や早帰り園児の都合を考慮し、時間帯は前後する。その都度、園に相談していくこととする。

■ 活動場所について

外環境を利用するため、天候に左右されることがある。悪天候時はみんなの広場、また図書館や体育室を利用し、対応していく。
活動場所は前月までに季節に合わせた候補地を決め、各園へ予定を連絡する事とする。

<柏 4 園(柏さかさい/柏中央/柏しんとみ/柏 ECEC)>

A 南部公園 / B 増尾城址公園 / C 手賀の丘公園 / D 県立柏の葉公園 / E あけぼの山農業公園 / F 北柏ふるさと公園 / G 柏ふるさと公園 / H 柏西口第一公園 / J リフレッシュプラザ柏(柏リフレッシュ公園) / K コミュニティ児童第 2 公園 / L 流山市総合運動公園 / M やまびこ公園 / N 野々下水辺公園 / O 中原ふれあい防災公園 / P こども図書館(沼南) / Q 柏中央体育館の幼児体育室 / R 満点の湯(足湯)その他

<牛久みらい保育園>

A 牛久運動公園 / B 洞峰公園 / C 乙戸沼公園 / D 霞ヶ浦総合公園 / E JAXA 筑波宇宙センター / F ひたち野水辺公園 / G 蛇沼公園 / H 牛久自然観察の森 / I 牛久中央図書館 その他



令和 04 年度 柏さかさい保育園 事業計画

■ 保育目標

通園児童は、保護者が就労等保育を必要とする時間、育ての親である保育士とたくさんの愛情の中で、自尊感情を育て経験体験を通して「思いやり と生きる力」を育み安心して暮らしていく。その中で、がんばること(心の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(体の力)を身につけ、笑顔・挨拶・思いやり・感謝の約束を常に心がけ、興味・関心・好奇心・意欲・意志を育て規律ある生活習慣を図る。

■ 特別保育事業

1. 延長保育 短時間保育(07:00～08:30) 標準保育(18:01～20:00)
2. 一時預り保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域子育て支援拠点事業(第二種社会福祉事業)
6. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
7. 障害者や中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
8. ファミリー交流事業(四季のまつり)
9. つどいの広場(出前保育)
10. 社会見学・屋外活動・ボランティア活動

■ 園児数(R04.04.01 現在)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	17	24	23	24	24	25	137

■ 職員構成

職 員	園 長	主任 保育士	保育士	調 理 員	栄 養 士	事 務 員	みなし 保育士	看 護 師	保 育 補 助	合 計
人 員	1	1	30	5	1	2	3	1	1	45

※ 事務員 1 名は本部業務も兼ねる

※ 障害職員 1 名(保育補助及び清掃担当)



■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園式、進級式、春まつり(懇談会)
5 月	こどもの日の集い、遠足、個人面談、10 *。ウオーク(さくら)、お泊り保育(5歳児)、歯磨き指導(幼児組)
6 月	内科検診、歯科検診、尿検査(4, 5 児)、
7 月	七夕会、お泊り保育 (3、4歳児)、食育体験教室(5 歳児)
8 月	夏まつり、異年齢地域交流、
9 月	引き渡し訓練、ふれあいパーティー
10 月	親子運動会、視力検査(5歳児)、遠足、筑波山登山(5 歳児)、交通安全指導
11 月	芋堀り、大根堀、プレマソン
12 月	クリスマス生活発表会、もちつき、内科検診
1 月	冬まつり、マラソン記録会
2 月	節分、マラソン交流会、お店屋さんごっこ、視力検査(3 歳児)、冬まつり
3 月	入園説明会、卒園遠足(さくら組)、お兄さんお姉さんありがとうの会、卒園式

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・映画会

※ 誕生会:さくら組保護者の方も参加し、保育参加をしていただきます。

■ 地域貢献

- ・ 『子育て支援』 広報活動を積極的に行い、より多くの方々への子育てに対する不安を聞き、子育てに対する手助けをする
- ・ 『公園里親活動』 2,3,4,5 歳児が園周辺の清掃活動や公園のトイレの清掃を行い地域へ対するボランティア活動を行う
- ・ 小学校接続を目的にした、幼保小連携及び小学校との交流会(こどもたち&職員間)を積極的に実施していく
- ・ 近隣の中学生の職場体験、高校のインターシップ、支援学校の職場体験の受け入れを積極的に行い、未来の親作りの手助けをする

■ 令和 04 年度 保育活動

- ・ 新型コロナウイルス感染症流行により、地域との連携、交流活動も規模縮小の傾向にある中で、特に行政、保幼小との連携を大切に、情報共有、報連相を心がけていく。



- ・ カンガルーケア、抱きしめ言葉を保育者の義務とし、安心して過ごす環境を整え、外環境や四季折々の身近なものとの関わりから五感を刺激し、見て学ぶ保育を提供していく。

幼児組は昨年に引き続き、2週に1回、4、5歳児対象に外部委託の専門員による体操指導。法人職員による音楽リズム指導を通して、五感を刺激し情緒の安定を図る。

また、3、4、5歳児対象に楽器に触れ音楽指導を行う。

その他、さくら組の午後の時間に、法人職員による文字や絵画に触れ経験を豊かにする「わくわくアート」やバスに乗り普段の保育活動中には行けないような場所に出かけ、体を動かし遊ぶ楽しさを共有する「わくわくタイム」を取り入れ、イキイキワクワクハラハラドキドキを感じながら地域の子どもたちや公共の遊具の遊び方など遊びながら社会性を身に着け、また、人材活用によって保育士の時間を有効活用する。

■ 自然とのふれあい

柏さかさい保育園近隣の日暮誠さんの畑で、大根堀の体験や近隣の拡大した公園での活動を取り入れる。

■ 保護者との協同

保護者会役員との協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同する。また、「おやじの会」との連携も引き続き推進し、父親の育児参加や保育園活動(夏まつり、親子運動会の参加等)の発展に繋げていく。



令和 04 年度 柏中央保育園 事業計画

■ 保育目標

- ・ 育ての親である職員全員が園児一人一人の『愛された育ち』を保障し、保育方針にもある「ぎゅっとして・みつめて・きいて・よんで」を忘れずに生活する
- ・ 安心できる保育生活の中で、新しい経験体験、チャレンジを意識した保育活動を展開できるよう心掛け、がんばること(心の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(体の力)を大事に、規則正しい生活習慣を図る
- ・ 仲間との集団生活の中で、相手の気持ちを考えられる、『思いやりの心』が育めるよう意識した声掛けを心掛けると共に、異年齢交流も大事にする
- ・ 園庭がなくても体を動かす楽しさを感じることができるよう園外活動を行い、イキイクワクワハラハドキドキを感じながら経験体験ができるような保育を心掛ける
- ・ みんなのひろばでのリズムにあわせた音楽リズム遊び、運動遊び(2週に1回)、及び週1回の遠距離散歩(スペシャル・ディ)、園バス(2歳児以上)での園外活動も月2回取り入れる

■ 特別保育事業

1. 延長保育(短時間 朝 7:00～8:29・16:31～20:00 通常 18:01～20:00)
2. 一時預かり保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域子育て支援拠点事業(第二種社会福祉事業)
6. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
7. 障害者や中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
8. ファミリー交流事業(四季のまつり・保育参加)
9. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動
10. 公園里親活動(柏西口第一公園・豊四季台公園)

■ 園児数(R04.04.01 現在)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	7	18	19	18	20	19	101



■ 職員構成

職員	園長	主任 保育士	保育士	調理 員	栄養 士	事務 員	みなし 保育士	看護 師	保育 補助	合計
人員	1	1	21	4	1	(1)	3	1	2	35

※ 本部事務員が事務員兼ねる

■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園式・お花見・バス遠足/10 キロウォーク
5 月	子どもの日の集い・個人面談・尿検査
6 月	筑波山登山・個人面談・歯科・内科健診・4 歳児お泊り保育・プール開き
7 月	七夕の集い、お泊り保育（5 歳児 1 泊 2 日）・夏まつり
8 月	お泊り保育（3 歳児）
9 月	引き渡し訓練・視力検査・運動会
10 月	秋まつり、ハロウィンパーティー・遠足週間
11 月	第1回マラソン記録会
12 月	クリスマス生活発表会・クリスマスクッキング・ボランティア活動
1 月	第2回マラソン記録会
2 月	節分・豆まきの会、歯科健診、4 園合同マラソン交流会、バレンタインクッキング
3 月	ひなまつりの集い、入園説明会、卒園遠足、卒園式、修了式、ありがとうの会

※ 毎月行事: 誕生会・避難訓練・身体測定

※ 誕生会: 今年度は年長児の誕生月に保護者の方を招待

※ 毎週・隔週: 幼児体育(4・5 才児)・音楽リズム(4・5 才児)
ワクワクタイム・ワクワクアート(5 歳児)

■ 地域貢献

- ・ 『子育て支援』 妊娠期からの親育てを大事に、子育ての不安を喜びに変えられるような場所になればと考える。子どもへの関わり子育てのヒントとなるような活動を定期的に行い、不安や喜びを伝えあえるような仲間になれるよう架け橋にしてい



- ・ 『公園里親活動』 日頃から利用している公園がいつもきれいに保てるようゴミ拾い等の清掃を行う

■ 園外活動

柏中央保育園は園庭がないため悪天候でない限り園外活動を行う。毎週水曜日をスペシャルディとし、目標を持ち「イキイキ・ワクワク・ハラハラ・ドキドキ」の活動を心掛ける。園外で地域の方と接するときは感謝・挨拶を忘れずに心掛ける。

■ 特別な保育

- ・ 脳刺激、リズム感を養うために音楽リズム遊び
→年長児・年中児
- ・ 専門職員からの鍵盤ハーモニカ指導
→年長児（年長児のクリスマス生活発表会に向けて課題をもって行う）
年中児 1 月～3 月
- ・ 2 週に 1 回、外部委託の専門員による幼児体育
- ・ わくわくアート
保育アドバイザー高間先生による、文字を書くこと、描画表現活動を行う。
想像力・思考力・表現力を育むための時間となり、子どもたちが積極的に取り組める素晴らしい時間
- ・ わくわくタイム
外環境や社会資源を活用し、四季の自然環境を味わうことができるアグレッシブな活動時間
- ・ 年間計画を立て食育に取り組み、全体的に行う食育と、朝の時間を利用し希望者がお手伝いする時間（玉ねぎの皮むきなど）を作り、調理師と関わる時間を作ることにより関係性が深まる

■ 保護者との協同

保護者会役員との協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同する。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で保護者との関わりを持つことができないが、落ち着いたら活動を再開し保護者の架け橋になるよう活動・行事を取り入れる。



令和 04 年度 牛久みらい保育園 事業計画

■ 保育目標

「思いやりと生きる力」を伸ばすことを大きな目標とし、そのために一人ひとりに愛情深く接し、保育方針にそって、より良く見つめ・抱きしめ・耳を傾けて良く聴き・たくさん話しかけながら日々子どもに向き合っていく。子ども達が意欲的に活動できるように、毎日の生活がわくわく楽しめるような保育を工夫し、活動を通してがんばること(心の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(体の力)を身につけていくことを目標とする。

■ 特別保育事業

1. 延長保育(6:30～7:00 18:00～20:00)
2. 一時預かり保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域子育て支援拠点事業(第二種社会福祉事業)
6. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
7. 障害者や中高生の為の職場体験事業(インターンシップ事業)
8. ファミリー交流事業(四季のまつり・保育参観・みらいファミリー会)
9. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動
10. 休日保育
11. 病後児保育(体調不良児含む)

■ 園児数(R04.04.01)※今後 4 月入園児追加可能性あり

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	9	18	18	16	18	18	97

■ 職員構成

職員	園長	主任 保育士	保育士	調理 員	栄養 士	事務 員	看護 師	保育 補助	保育 アドバイザー	合計
人員	1	1	22	4	1	1	2	1	1	34



■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園式 お花見 こどもの日のつどい
5 月	バス遠足、春まつり、田植え体験(5 歳児)、マラソン記録会①
6 月	内科健診、歯科健診、歯みがき指導、お泊り保育(5 歳児)、サツマイモ苗植え
7 月	スペシャルデイ(お泊まり保育に代わる活動:4 歳児)、プール開き、七夕の集い、じゃがいも掘り
8 月	夏まつり(地域のおまつりに参加)、視力検査(4 歳児)、プール納め、スペシャルデイ(3 歳児)
9 月	稲刈り体験(5 歳児)、おじいちゃん・おばあちゃんふれあいの会、介護施設訪問(予定)
10 月	親子運動会、さつまいも掘り(4・5 歳児)、秋まつり
11 月	バス遠足、筑波山登山(5 歳児)、人参掘り(3 歳児)
12 月	クリスマス生活発表会、もちつき、大そうじ
1 月	内科健診、歯科健診、マラソン記録会②
2 月	節分豆まきの会、冬まつり、マラソン交流会(4・5 歳児)、入園説明会、パンづくり体験(5 歳児)
3 月	ひなまつり集会、卒園遠足、さくらさんありがとうの会、卒園式、入園前保育体験会、園外保育の日

※ 毎月行事：誕生会・非常災害訓練・身体測定・映画会(クラスごと)・交通安全教室・ボランティア活動

※ 誕生会：誕生月に保護者の方を招待し、クラスでの誕生会に参加

※ 毎週・隔週：体操指導(4・5 歳児)・音楽リズムあそび(全クラス)・わくわくアートタイム(5 歳児)・わくわくタイム(5 歳児)

■ 地域貢献

新型コロナウイルス感染症流行により、地域との連携、交流活動も規模縮小の傾向にある中で、特に行政、保幼小との連携を大切に、情報共有、報連相を心がけていく。

- ・ R2年4月、ひたち野うしく地区に新たに中学校が開校、保幼、小、中まですを含め、地域連携、交流活動、情報交換をしていく
- ・ 地域子育て支援センター“としおちゃん”では、イベントや行事をきっかけに園に気軽に来ていただけるように、また保育園の専門性を生かして相談しやすい関係づくりに努めていく。地域のニーズに合わせた子育て支援活動を実施できるように情報の収集や外部への情報発信に取り組んでいく



- ・ ボランティア活動として、園外活動に行ったときやわくわくタイムの際にはゴミ拾いを引き続き行っていく

■ 令和 04 年度 保育活動

引き続き、新型コロナウイルス感染症流行が懸念される中での活動となるが、子どもたちの五感の刺激、わくわくドキドキ、「つながる」活動を目指していく。

- ・ 運動は、専門指導員による体操指導を月 2 回取り入れていく(4・5 歳児)
- ・ 音楽は、綱川保育士指導のもと、リズム遊び、ピアノの指導を系統立てて行っていく(全クラス)
- ・ 文字を書くこと、描画表現については、高間保育アドバイザーによる、わくわくアートタイム(5 歳児)で知的好奇心を高めていく活動を取り入れ、室内活動をより豊かにしていく
- ・ 五感の刺激、子どもたちの体力づくり、社会性を育むため、積極的に外環境の活用、園外活動を実施していく(5 歳児 わくわくタイム)
- ・ 看護師による保健活動は身体健康づくりだけでなく、命の大切さやマタニティ体験等を通して心の育ちも考えていく
- ・ 食育活動は調理室と連携しながら、野菜の栽培や収穫、日常の生活や行事を通して食を楽しむ経験を多く取り入れていく

■ 病後児保育

保健センターでの事業案内、市内小学校児童クラブへのパンフレット配布など積極的に広報活動をすすめていくとともに、利用実績を踏まえ、牛久市、医師会と連携して、より利用しやすい事業を目指す。

■ 他機関との協同

茨城大学農学部に出かけ、わくわくドキドキの体験、自然とのふれあい、五感の刺激、食育についての興味・関心をさらに深める楽しい活動を取り入れていく。また、野菜の収穫だけではなく、年間を通して作物の成長を感じられるように、季節に合わせた活動を行っていく。(R4 年度茨城大学の体験受け入れは検討中)

■ 保護者との協同

R3 年度は新型コロナウイルス感染症対策のために活動等の開催が難しかったが、今後感染状況を見て、保護者同士のつながりを深め、子どもたちのより良い育ちの為に、大人たちみんなで子どもたちみんなを見守る“村づくり”再開を進めていく。



令和 03 年度 柏しんとみ保育園 事業計画

■ 保育目標

「思いやりと生きる力」を伸ばすことを大きな目標とし、保育方針にそって、愛情深く、より見つめ・抱きしめ・耳を傾けて聴き・たくさん話しかけながら、日々子ども達一人ひとりに向き合っていくこと。その為に、『がんばること(心の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(体の力)』を身につけ、「笑顔 挨拶 思いやり 感謝」の心を育てながら、「興味・感心・好奇心・意欲・意志」を感じられる環境づくりと心の成長を意識目標とする。

■ 特別保育事業

1. 延長保育(18:00～20:00)
2. 一時預り保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障害児保育
5. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
6. 障害者や小学生、中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
7. ファミリー交流事業(四季のまつり)
8. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動(公園里親登録)

■ 園児数(R04.04.01 現在)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	4	19	19	18	19	20	99

■ 職員構成

職員	園長	主任 保育士	保育 士	調 理 員	栄 養 士	事 務 員	みなし 保育士	看 護 師	保育 補助	スー パー バイ ザー	合 計
人 員	1	1	20	3	1	(1)	3	1	2	1	33

※ 事務員は本部兼務

※ 保育士のうち 1 名は保育アドバイザー



■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園式・進級式・春まつり(懇談会)・こどもの日の集い
5 月	尿検査(4、5 歳児)・バス遠足・10 キロウォーク(5 歳児)・歯磨き指導
6 月	個人面談・歯科検診・内科検診・お泊り保育 (5歳児)・消防訓練、
7 月	プール開き・七夕の集い・お泊り保育ごっこ (4 歳児)・夏まつり
8 月	プール納め・
9 月	引き渡し訓練・お泊まり保育ごっこ(3 歳児)・敬老の集い・視力検査(5 歳児)
10 月	親子運動会・秋まつり(鑑賞会)・秋の遠足会(2・3・4・5)・芋ほり
11 月	大根掘り・視力検査4歳児・プレマソン
12 月	クリスマス生活発表会・おもちつき・大掃除
1 月	マラソン記録会・年長児学校訪問・内科検診・視力検査 3 歳児
2 月	節分・冬まつり・マラソン交流会
3 月	ひなまつりの集い・卒園遠足(5 歳児)・入園説明会・お兄さんお姉さんありがとうの会・卒園式・ならし保育

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・ボランティア活動・食育活動

乳児、幼児映画会・安全点検・家族の生活目標表彰式

※ 誕生会:さくら組の保護者の方をご招待し保育参観をしていただく。

■ 地域貢献

- ・ 子育て支援活動は無認可だが、地域密着型を目指す活動及び子育ての不安を喜びに変えられるような場所をめざし、園内見学、園庭開放を行い、園児との関わりの中から沢山の発見やお互いの学びの場となるようにと行う
- ・ 小学校接続を目的にした、幼保こ小連携及び小学校との交流会(こどもたち&職員間)を積極的に実施していく
- ・ 街体験学習を取り組む近隣小学校についても積極的に受け入れをする
- ・ 保育士実習、看護師実習生の受け入れについても、職員自身の振り返りや伝える事で意識の変化をも学び合える機会となる
また、童心会の保育の本質を伝える良い機会となりそして良き未来の保育士仲間となりうる人材の受け入れとして積極的に実施していく
- ・ ボランティア活動として近くの公園の里親となり普段から清掃やゴミ拾いを行っている



■ 令和 04 年度 保育活動

- ・ 新型コロナウイルスの影響で、規模が縮小・変更となる保育活動も予想されるが、行政や童心会本部・4園と連携を取りながら、健康管理・安全対策をしっかりと行い活動を計画・実施していく
- ・ 童心会他4園との交流会
- ・ カンガルーケア、抱きしめ言葉が日常の基本である事を常に忘れず、安心して過ごす環境を整え、外環境や身近なものとの関わりから、五感を刺激し見て学ぶ、体験して学ぶ保育を提供していく
- ・ 幼児体育： 2週に1回、4、5歳児対象に外部委託の専門員による体操指導が行われる。
- ・ 音楽リズムセラピーを通して、五感を刺激し情緒の安定を図る。また、3、4、5歳児対象に楽器に触れ音楽への楽しみや集中力を養う
柏さかさい保育園より音楽リズムセラピー（リトミック）講師による人間形成に欠かせない集中力、自立心、競争心、好奇心、協調性、感受性、即時反応力などと言った要素をバランス良く心と身体、そして脳の発達、自己表現を豊かにする
- ・ わくわくアートタイム：法人職員による「絵」や「文字」を通して表現力や想像力・思考力を伸ばしている
- ・ わくわくタイム：五感の刺激・体力づくりを目的とした園外活動（バスを利用して広い公園、公共の利用）

■ 自然とのふれあい

柏しんとみ保育園、近隣の公園（流山市、柏市）など多くの公園を使用する。その際危険個所の確認、歩くマナーを知り伝え、一緒に考えながら命の大切さを知る事を意識している。体験と探検を通して近隣の方々との挨拶を交わす事も大切にし、変わりゆく季節、五感を通して感じ合えるように安全に歩き楽しみ感をもって、園外保育活動を取り入れていく。

また、柏さかさい保育園近隣の日暮誠さんの畑では大根掘りを体験する。

■ 保護者との協同

保護者会（ファミリー会）役員との協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同する。 保育園活動の発展に繋げていく。



令和 03 年度 柏 ECEC 保育園 事業計画

■ 保育目標

- ・ 育ての親である職員全員が園児一人一人の『愛された育ち』を保障し保育方針にもある「ぎゅっとして・みつめて・きいて・よんで」を忘れずに生活する
- ・ 安心できる保育生活の中で、新しい経験体験、チャレンジを意識した保育活動を展開できるよう心掛け、がんばること(体の力)、つづけること(学びの力)、がまんすること(心の力)を大事に、規則正しい生活習慣を図る
- ・ 仲間との集団生活の中で、相手の気持ちを考えられる、『思いやりの心』が育めるよう意識した声掛けを心掛けると共に、コロナ禍ではあるが異年齢交流もできる範囲で工夫をしていく
- ・ 園庭がなくても体を動かす楽しさを感じることができるよう園外活動を行い、イキイキ・ワクワク・ハラハラ・ドキドキを感じながら経験・体験ができるような保育を心掛ける。

■ 特別保育事業

1. 延長保育
2. 一時預り保育事業(第二種社会福祉事業)
3. 乳児保育(産休明け)
4. 障がい児保育
5. 地域交流事業(誕生会・三世代交流・その他)
6. 障がい者や中高生の為の職場体験事業(インターシップ事業)
7. ファミリー交流事業(四季のまつり)
8. 社会見学・歩行訓練・屋外活動・ボランティア活動

■ 園児数(R04.04.01 現在)

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
人 数	8	15	15	18	18	16	90

■ 職員構成

職員	園長	主任 保育士	保育士	調理員	栄養 士	事務 員	みなし 保育士	看護師	合 計
人 員	1	1	18	2	1	(1)	1	1	25

※ 本部事務員が事務員兼ねる



■ 年間行事予定

月	行 事
4 月	入園・進級式・お花見・子どもの日の集い
5 月	春まつり(懇談会)・バス遠足・尿検査
6 月	10キロウォークお泊り保育(5歳児)・歯科・内科健診・個人面談
7 月	ひまわり組スペシャルディ・プール開き・七夕の集い・夏まつり
8 月	消防署見学(4・5歳児)・プール納め・カスミマーケットツアー
9 月	引き渡し訓練・おじいちゃん・おばあちゃんふれ愛プレゼント・親子運動会
10 月	筑波山登山(5歳児)・秋の遠足・秋まつり・ハロウィンパーティー、たんぽぽ組スペシャルディ
11 月	マラソン記録会・大根掘り
12 月	クリスマス生活発表会、クリスマスクッキング・もちつき
1 月	年長児学校訪問、内科検診
2 月	節分・豆まきの会、5園合同マラソン交流会、冬まつり(懇談会)
3 月	ひなまつりの集い、入園説明会、卒園遠足、ありがとうの会、卒園式

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定

※ 誕生会: R4 年度は、さくら組保護者様のみ誕生会にご招待

■ 地域貢献

- ・ 外環境・自然環境・四季環境を通した保育を通して、地域の方とも挨拶や会話を交わし、地域を活性化できる保育園を目指す。
- ・ 小学校接続を目的にした、幼保小連携及び小学校との交流会(こどもたち&職員間)を積極的に実施していく
- ・ 園見学を通して、子育てをする方の話を聞いたり、相談に乗り群れで育ちあうことの大切さを伝えていき、頑張っている保護者様に寄り添える存在であることを発信していく。

■ 令和 04 年度 保育活動

・音楽リズムセラピー・わくわくアート・わくわくタイム・幼児体育

専任講師により、五感を刺激した指導を行って頂き、共同養育者として担任以外の視点から見た子どもたちの育ちを共有し、園児の対応や活動内容は各クラスの保育でも指導頂いたことを取り入れ活動の幅を広げていく。



・園外保育活動

園周辺の公園が少ない為、歩いて公園に行くだけではなく園バスに乗って公園に行くという活動も多く取り入れていき、固定遊具で身体を動かして遊べる機会も確保していく。また固定遊具以外の遊び方について MT を通して共有していき、各クラスごとに遊びの幅を広めていく。

■自然とのふれあい

- ・柏さかさい保育園近隣の日暮誠さんの畑で、大根掘り体験をさせて頂き土に触れたり、収穫物の育ちや本物に触れる体験をさせて頂く。

■保護者との協同

保護者会役員との協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同し、園運営や園児の育ちに関して引き続き連携を図る。